

株式会社白川工務店



<主な業務内容>
建築・土木工事
<KES ステップ 1 登録日>
2010年 7月 1日



白川社長（左）と環境管理担当の馬場様（右）

今回お邪魔しましたのは、電車通りと鹿児島大学に近い荒田町（鹿児島市）にある「株式会社白川工務店」さんです。

事務所に入るとまず、目を引く壁一面の賞状の数々。それは、年数を感じさせる褐色のものから、最近のものとなる真っ白なものまで、ところ狭しと飾られていました。落ち着いた雰囲気の中、白川社長と環境管理担当の馬場様にお話を伺いました。

かゆいところに手が届く



5年前より鹿児島市の環境管理事業所に取り組み、1年前にステップアップのためにKESを取得したとのこと。環境管理担当の馬場様は「取り組み始めたことで、業務全体に計画性ができましたが、やはり目標設定・実施の難しさを感じています。」とのこと。

私共の配信するメルマガを活用されていて、「専門的な用語や、わからない内容はすぐに検索して調べるようにしています。」と、勉強熱心さを感じました。

昨年夏には、自動販売機の省エネ事例紹介を見て、早速、自動販売機の売上げに対する電力量を調べてもらい、節電型へと交換されたとのこと。

最近、鹿児島市内にある薬局さんのリフォームを担当され、店舗の照明を全てLEDへ。電気代が以前の10分の1になり大幅な節電へとつながりました。

「エコ商品を提案するには、それなりの出費も当然ですが、『より良いものを』と思えば、高価になって、お客様にご迷惑をおかけするのは必至。自信と実績のあるものを提案できるよう心がけています。」

「お客様より困ったことをお聞きし、より良い商品や材料を提案し、結果的に安心していただけるように根っこをおさえてから、最善をつくすことが大切。お客様からの依頼はケースバイケース。また、業種はとても幅広いものなので、基礎が出来ていないと大変です。」と終始優しいかった眼が、技術者の眼に…馬場様の仕事に対する信念を感じました。

無理せず…



お話を聞く中で、よく出てくる「無理せず」という言葉。これは、一見簡単で「楽」なことと勘違いしがちですが、実はとても大事なことです。何事も最終的には「継続させる」ことが大切です。

事務所内の温かい空気は、こんな気持ちで仕事をされている方たちの集まりだからなのでしょう。社長の奥様は、「KES に取り組むようになってから、自宅でも自然に使わない電気を消すようになりました。暖房も、以前は起きたらすぐつけるのが当たり前でしたが、この季節でもつけなくて、全く気にならなくなりました。『やらなきゃ』じゃなくて無意識に実践できているのが、嬉しいですよ」と肩肘はらずにエコを実践されていました。

また、甲突川沿いと谷山の清掃活動も継続されており、「これからも、引き続き節電や環境活動に努めて、更に地域にも広めて行きたいですね」と、頼もしいお話をお聞きすることが出来ました。



インタビューの前に「メルマガ、PDF に変わりましたね」と馬場様。以前からの要望もあり、先月号より変更しました。「word の時は、イラスト等の素材で気に入ったものは、コピーして活用していましたから」と言われ一瞬複雑な心境に。「絶対に PDF のほうが皆さん喜ばれる」と思って変えましたが、以前のほうがよかったという方もいらっしゃる…勝手な私の思い込みで逆に不便を感じる事もあるのだと、日頃の生活も振り返るところでした。

しかし「大丈夫ですよ」と逆に PDF でも簡単にコピーできる操作方法を細かく説明してください、まさに「かゆいところに手が届く」長年の経験と、仕事に対する姿勢を実感しました。

今回も貴重なお時間に、取材へのご協力いただき本当にありがとうございました。

武田